

動労革マルの総評破壊弾効

ここまで組合を腐敗・墮落させる「労使共同宣言」

マル生組合の動労「本部」と鉄労の全国大会は「分割・民営促進、国労解体」の大反動方針を採択、とりわけ動労革マル・松崎は国鉄当局・杉浦の先兵となつて国鉄労働者の階級性を解体し、マル生運動を持ちこみ、国労を破壊し、職場を引き裂き、国鉄労働者をたたきだそうとしている。そのうえで当局・資本と手をとりあつて鉄労同盟の下で戦争へ突きすすむ産業報国会をつくりあげようとしている。当局に首輪をはめられた番犬・動労革マル・松崎の延命の道がまかりとおつていいのいか。もはや、ガマンできない。

たった一年でこのありさま!!—ひどすぎる階級移行—

昨年の動労全国大会は次のような「たかかう」方針をだした。

- 「分割・民営化」に反対し、国鉄を国鉄として残す。
- 解雇者が出るならストライキで闘う。
- 「産業報国会」の流れに抗し国鉄労働運動解体攻撃と闘う。そのためたたかう労働戦線の統一をかちとる。

- これは昨年、たった一年前の動労「本部」の運動方針である。それが今年は、
- 六二年四月一日（分割・民営化移行日）の実施期日をいたずらに延ばすな。
- 新事業体における労働組合の運動は共同宣言を発している四組合のたたかいが基礎となる。
- 全民労協を軸とする右翼再編に積極的に参加する。

「方針」を決定した。大会は革マル代議員の「三本柱」「広域異動」の戦果報告の場に化した。そして、「雇用確保は守れた」との勝利宣言を行った松崎を口

々に賛美し、「国労を一挙に解体する絶好のチャンス」とわめき、書記長・福原などは「国労を相手にする当局は消えてもらう」と答弁しているのだ。

このような動労の姿勢を憂慮する良心的代議員から「方針」への疑問・批判が当然にも多くだされたのである。

職場の怒りを今こそ力に

あらゆる制動を解き放ち 決起しよう!

これだけの大攻撃、大裏切りが国労に對してかけられているのに、国労中央、や革同・協会などの右往左往ぶりはどうだ。国鉄当局・杉浦の先兵となつた松崎は「国労を一挙に解体する絶好のチャンス」とわめいているというのに、
国労・動労千葉の組合員をたたきだした職場をマル生組合・動労革マルの拠点にしようというのだ。

当局の忠犬・労働者の敵・動労革マルを全職場から一掃しよう!

裏切集団「革マル」「真国労」を解体せよ!

「人材活用センター」なるレッドパージ

組合解体攻撃をうちくだこう!

差別・選別攻撃! 十万人首切りを許すな!

全国全職場の怒りを力に! 国鉄法案粉碎、

分割・民営化絶対阻止、11月ダイ改! 8万人

合理化粉碎! 裏切りと敗北への道! 「労使共

同宣言」を断固粉碎せよ!

三〇万国鉄労働者の怒りを体现する闘う統一戦線! 「分割・民営絶対阻止」の一大潮流

を築きあげよう!

本場に、いま起たなければ!

国労中央、革同・協会をのりこえて!

動労が総評脱退 委員長 明 (70.12)



綿密なシナリオ 路線転換の総仕上げ (20.8.2)



一企業一組合めざす

「分断・民営絶対阻止」